授業づくり研修講座　実践レポート

栗原小学校　　氏名　松田将義

単元名　　第　４学年　　「新聞のくふうを知ろう」

実践のポイント（工夫）

・論理的な文章を書くために　～誰に向けて、何のために書くのかを明確にした指導～

実践内容

|  |
| --- |
| 「新聞の工夫を知ろう」で、防災新聞を作りました。  「論理的な文章」を書くために以下の相手意識や目的意識を持たせて取り組みました。  ・相手意識→地域の人たちに向け  ・目的意識→地震が起きたときに気を付けてもらいたいこと  今回は、「くりっこ祭り」と学校での地域のお祭りがあったのでそこに合わせて取り組みました。  論理的な文章を書く学習課程  ○取材  防災新聞を書くにあたって、１学期に調べ学習を行い、防災のさまざまな情報をたくさん集めました。  ○構想  ２学期には集めた情報を基に、自分が伝えたいテーマを決め、同じテーマのチームで調べ学習を行いました。  ○記述  地域の人に向け、新聞を書きました。「５W１H」を意識し、わかりやすい新聞になるように工夫して取り組みました。  ○推敲  友達と読み合い、相手意識や目的意識に合っているか考えあわせました。みんなが楽しんでもらえるように絵や写真を入れるなどの工夫がありました。  ○交流  完成した新聞を読みあい、振り返りをすることができました。 |

振り返り（成果や課題）

成果

・地域のお祭りに向けて取り組めたので、子どもたちが自分から進んで取り組むことができました。子どもたち同士で話し合い、自分たちで工夫することができるなど楽しく取り組めた。

課題

・自分が伝えたいことが先走ってしまい、相手意識がたりなかった（相手が知りたい内容ではなかったのではないか。）と思う。相手意識を持たせ、何を伝えるべきか考えさせたい。